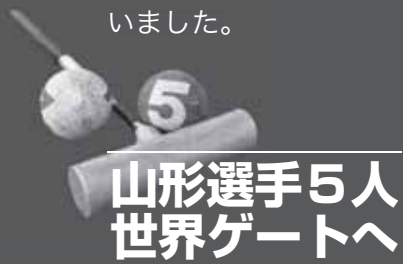




藤原静枝さん 柔道東北優勝

8月6日、7日、宮城県で開かれた東北中学校柔道大会。女子個人63kg級で、藤原静枝さん（長内中3年）が接戦を勝ち抜き、優勝を果たしました。

藤原さんは「最高にうれしい！先生や仲間の声援が力になりました」と、喜びを語っていました。



山形選手5人 世界ゲートへ

9月17日～19日に中国上海で開かれる第10回世界ゲートボール選手権大会 in 上海に、山形町の4人の選手などで構成するチーム「岩手久慈」の出場が決まりました。

過去の実績から推薦された期待の同チーム。主将の南野米蔵さんは「皆、経験豊富。出るからには優勝を目指します！」と意欲を燃やしていました。

出場メンバー

主将 南野米蔵さん
大畑勝美さん
清水英雄さん
谷地信正さん

表彰状と盾を掲げる上夏井二三男
会長（左）と大久保一明事務局長



表彰状

岩手県
夏井川堤の景観を創る会
貴団体の水資源を保護し、
環境を改善し、地域を
活性化し、水資源を
持続的に活用することに
多大の功績をあげて
おめでとうございます。

夏井川堤の景観を創る会

水資源で全国表彰

夏井川堤の景観を創る会（上夏井二三男会長）は8月2日、平成22年度水資源功績者として、国土交通省から表彰されました。

今回、同功績者選ばれた団体は、全国で6団体のみで、岩手県からは唯一。長年、積み重ねてきた活動が、全国で高く評価されました。

同会は平成7年に発足。正会員と賛助会員を合わせた約100人で構成されています。夏井川周辺

の景観づくりや環境保全活動のほか、イベントも開催するなど、地域の活性化に向けて積極的に活動しています。上夏井会長は「お互いが寄りそって、地域をよりよくしていけるよう、さらに連携を深めていきたいです」と抱負を。大久保一明事務局長は「活動を続けられるのも、夏井に住む人たちの理解と協力あつてのこと。水は地域の宝です。活動を通して、次の世代の子どもたちに、水の大切さを伝えていきたいです」と意欲をにじませていました。

PICKUP NEWS

自衛隊 艦艇広報



- 1 / 山内市長と記念品を交換する澤口艦長（左）地元への歓迎に笑顔が広がります
- 2 / 操縦室の一般公開では装備の試着も
- 3 / 「たかなみ」は後部にヘリコプターを積載。ヘリの操縦室でピース
- 4 / りりしい乗組員の表情が「たかなみ」の存在感を際立たせます
- 5 / 掃海艇「のとじま」と「つのしま」
- 6 / グッズ販売も大好評

3隻入港 任務に理解

新久慈市の市制施行5周年を記念した自衛隊艦艇広報は7月24日、25日に久慈港諏訪下ふ頭で開かれました。入港したのは、海上自衛隊の護衛艦「たかなみ」と、掃海艇「のとじま」「つのしま」の3隻。「たかなみ」は、全長151m、排水量4650t、乗員数は約200人という大型艦で、圧倒的な存在感を示していました。

24日の入港歓迎式では、3隻の艦長や乗組員を、山内隆文市長をはじめ多くの出席者が温かく歓迎。待浜町出身で「たかなみ」の澤口和彦艦長は「自衛隊はともやりのある仕事です。この機会に市民の皆さんと交流を深め、理解と信用が得られればうれしいです」と隊を代表してあいさつ。笑顔を浮かべ帰郷を

喜んでいました。期間中は、3隻の一般公開や体験航海が実施され、市内外から2300人が来場。来場者は、乗組員の丁寧な説明を受けながら艦内を見て回り、自衛隊の任務の大切さに理解を深めていました。

INTERVIEW

小林十郎さん（二戸市・左）

ここまで大きい船の見学は初めて。ただただ圧倒。本当に見ごたえがありました！

日當智心ちゃん（洋野町・左）
琴心ちゃん（同・右）

ヘリも積める大きさにビックリ！自衛隊のお兄ちゃんも優しい！

道と地域 熱い語りで 思い一つに



地域の未来を担う高校生も積極的に意見発表

久慈地域の道路を考える意見交換会（北リアスみちづくり女性の会主催）は7月29日、

防災センターで開かれました。はじめに国土交通省東北地方整備局の三浦真紀道路部長が「道路建設は無駄ではありません。ただ、地域の活性化には人を呼び込む努力が必要です」と講演。久慈地域の道路の現状と課題について事例発表した山内隆文市長は「道路は地域活力を引き出す必要条件。真に必要な道路を行政と地域で考え、訴えていきましょう」と力を込めました。最後は、市内各団体と高校生が「道路整備によるまちづくり」をテーマに意見を交換。誘客・交流の促進や産業の発展、救急医療の充実など、道路整備によって広がる久慈地域の魅力や効果を熱く語り合い、道路整備への思いを一つにしています。

海保の 巡視船も入港



左/小袖漁撈唄で「くりこま」入港を歓迎上/ライフガードレディース23人を委嘱

8月21日、22日、海上保安庁巡視船「くりこま」が久慈港に入港。艦内の一般公開や体験航海などが行われました。

21日の入港歓迎式では、小袖漁撈唄の披露などで、渡邊泰夫船長と乗組員を温かく歓迎。22日は、救命胴衣の着用推進員ライフガードレディースの委嘱式なども行われました。